学校番号	201

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史Ｂ（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図説（第一学習社）、改訂版詳録新日本史史料集成(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史の理解は教科書の内容把握だけで十分であるというわけではありません。図版などの統計資料や地図資料、古文書などの史料の読解など、教科書以外の副教材の活用と合わせて、同じ地理歴史科の世界史・地理との関連も重視されています。世界史との関連付けにおいては、各時代における我が国と諸外国との政治的、経済的、文化的な接触・交流が、我が国の歴史と文化の展開にどのような作用を及ぼしたかを考察する必要があります。歴史は時間の経過の中で発生した様々な事象を考察する学問ですが、「どこで」という場所の把握、すなわち地理的理解との関連づけにおいて、歴史上の出来事の舞台となった諸地域について地図帳や地形図の活用を図りながら学習させることも必要です。つまり、歴史認識においては、日本国内外の空間的時間的な諸事象について、多面的・多角的に考察することが求められています。

歴史的諸事象を、他の時代の特色と比較・考察して、その共通点・相違点を明らかにし、その要因や背景を突き詰めていく学習がこれからは必要となります。そのため、歴史的思考力を育成する技能的内容項目として、「歴史史料」の活用、「図説資料」の理解を積極的に取り入れ、通史的内容の中に歴史事象の重要な「キーワード」を見つけさせ、発展的に思考力を養うことを最終的な目標としてあげておきます。

2　学習の到達目標

世界の平和と人類の福祉に貢献し、真理と平和を希求する人間の育成を期するため、人類の誕生から今日に至るまでの人間の「政治的」「経済的」「文化的」発展の足跡をたどり、日本がいつの時代にどのような進歩を遂げ、社会を発展させてきたかを理解する。

同時にその発展は、政治権力を握る特定の人々の歴史では無く、その時代に生きた多くの人々が築き上げてきたものであること、それには多くの人々の努力と尊い命を伴ってきたこと、また、日本国内だけの歴史的経過では無く、アジアとその周辺地域や欧米諸国との関係の中で生み出されてきたものであること、それらの関係は戦争のような悲劇的歴史事象、学術的文化的交流やそれに伴う活発な人々の交流のような友好的歴史事象などがあり、決して一面的にとらえることはできないこと、などを総合的理解することを学習の到達目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。

評価方法	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。	定期考査及び単元ごとの小テスト、プリント等の提出物の他、発言、質疑応答などを通して授業への取り組み姿勢を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1. 文化の始まり	**Ⅰ部　原始・古代** **第１章　日本文化のあけぼの** １．文化の始まり ①：人類文化の発生、旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②：打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果の理解する。	○	○ ○	○	○ ○	○旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目できたか。 ○黒曜石、サヌカイト、縄文土器などの考古資料を提示し、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察できたか。	プリントチェック
1学期	2. 農耕社会の成立	２．農耕社会の成立 ①：稲作伝播の様子や地域性を踏まえて弥生文化の形成を考察する。 ②：富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流から考察する。	○	○ ○	○	○	○水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の形成に与えた影響を弥生土器や発掘された農具から考察できたか。 ○クニの成立から邪馬台国に至るまでの経過を、環濠集落や武器の出現、『魏志倭人伝』などの文献資料に基づき、国内外の情勢を踏まえて考察できたか。	プリントチェック

1学期	3. 古墳とヤマト政権	3．古墳とヤマト政権 ①：首長の出現及び統一国家形成過程を、古墳の変容からとらえる。 ②：ヤマト政権の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③：ヤマト政権の政治制度を理解する。	○	○ ○	○	○ ○	○古墳の形状や大きさの変化、石室など埋葬施設の変容からヤマト政権と各地の政治勢力の関係を考察できたか。 ○中国及び高句麗・新羅・百済など朝鮮半島の情勢との関連、文字や仏教など大陸文化の受容を踏まえ、『宋書』の記事などからヤマト政権の成立についてとらえることができたか。 ○古墳時代後期から終末期にかけての文化・生活の変化、大王を中心とする氏姓制度など、ヤマト政権を総合的に理解できたか。	プリントチェック 章末小テスト
1学期	1. 飛鳥の朝廷	**第２章　律令国家の形成** １．飛鳥の朝廷 ①：ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。		○ ○	○	○ ○	○推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の形成について、仏教の受容や遣隋使など『隋書』や『日本書紀』等の記録から、大陸との交流を踏まえて考察できたか。	プリントチェック
1学期	2. 律令国家への道	２．律令国家への道 ①：律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化について考察する。 ②：律令に基づく国内統治体制について理解する。		○ ○	○	○ ○	○天智・天武・持統朝の政治動向に着目し、律令体制整備の過程と白鳳文化の形成過程を考察できたか。 ○大宝律令に基づく公地公民制、統治組織・官僚制・土地と民衆の把握・税制について理解できたか。	プリントチェック
1学期	3. 平城京の時代	３．平城京の時代 ①：律令体制完成期の奈良時代を、多角的・多面的にとらえて考察する。 ②：平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。	○	○ ○	○	○ ○	○平城京における大宝律令・養老律令による律令体制が整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなども踏まえて考察できたか。 ○『続日本紀』などの文献史料を基に、平城京における政治抗争と墾田永年私財法にみられる公地公民制の動揺など土地制度の変容を関連づけて考察できたか。	プリントチェック

1学期	4. 天平文化	４．天平文化 ①：天平文化の政治性と国際性、国家仏教の展開について、古代国家の展開から理解する。	○		○	○	○盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生、正倉院の宝物などについて考察できたか。	プリントチェック
1学期	5. 平安王朝の形成	５．平安王朝の形成 ①：平安前期の古代国家の推移と、東北支配や政治改革、地方統治の変容、律令体制の変質について考察する。 ②：東アジアとの関係から唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	○	○	○	○ ○	○古代国家の東北蝦夷の支配や東アジア世界との関係、及び平安京における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察できたか。 ○真言宗・天台宗などに着目して、唐文化を受容し、密教芸術が生まれた弘仁・貞観文化の意義を理解できたか。	プリントチェック 章末小テスト
1学期	1. 摂関政治	**第３章　貴族政治と国風文化** １．摂関政治 ①：藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響を理解する。	○	○	○	○	○藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容の観点から摂関政治の成立と展開を考察できたか。また、関連史料を読み解けたか。	プリントチェック
1学期	2. 国風文化	２．国風文化 ①：大陸文化の消化、末法思想を背景として成立した国風文化の展開を理解する。		○	○	○	○国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。	プリントチェック
1学期	3. 地方政治の展開と武士	３．地方政治の展開と武士 ①：地方での律令体制の崩壊が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ②：地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について考察する。	○	○	○	○ ○	○文献史料を活用し、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察する。 ○武士の反乱や成長などから中世社会の萌芽を見出すことができたか。	[中間考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述

1学期	1. 院政と平氏の台頭	**第Ⅱ部　中世** **第４章　中世社会の成立** １．院政と平氏の台頭 ①:院政期の政治・経済・社会・文化、土地制度を理解する。 ②：政治の動向、国際関係から平氏政権の確立について考察する。	○	○ ○	○	○ ○	○延久の荘園整理令により荘園公領制が明確化されたこと、及び院政の政治構造や経済・社会・文化を理解できたか。 ○平氏政権の特性、日宋貿易の展開などを考察することで、武家政権の成立過程を把握できたか。	プリントチェック
1学期	2. 鎌倉幕府の成	２．鎌倉幕府の成立 ①：鎌倉幕府が全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。		○	○	○	○源平争乱から幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などに着目することができたか。	プリントチェック
1学期	3. 武士の社会	３．武士の社会 ①：承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、執権政治の確立に至る過程を考察する。 ②：武士の生活と地方支配を通じて、地頭が土地支配権を掌握する過程を考察する。	○	○	○	○ ○	○公武関係の変化の背景として、『吾妻鏡』などの史料を通して武家政権の変容を見ることができたか。 ○絵画資料を読解し、武士の生活や土地支配をめぐる地頭と荘園領主との紛争などについて考察できたか。	プリントチェック
1学期	4. 蒙古襲来	４．蒙古襲来 ①：蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。	○	○	○	○	○文永の役・弘安の役、得宗専制政治の展開、農業・商工業の発達による社会の変動、永仁の徳政令の発布などを取り上げ、考察できたか。	プリントチェック
1学期	5. 鎌倉文化	５．鎌倉文化 ①：庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教など、新しい文化が生まれたことを理解する。		○	○	○	○鎌倉仏教の多様な動きの社会的・思想的な意義やその影響について考察できたか。また、文学・絵巻物・彫刻の特徴に着目できたか。	プリントチェック 章末小テスト

1学期	1. 室町幕府の成立	**第５章　武家社会の成長** １．室町幕府の成立 ①：南北朝の動乱から室町幕府の成立について、日本諸地域の動向とともに考察する。 ②：琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	○	○	○	○ ○	○鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立と崩壊を踏まえて南北朝の動乱を考察し、守護大名に着目して室町幕府の機構の確立について理解できたか。 ○日明貿易・日朝貿易の展開、琉球やアイヌの動向に着目できたか。	プリントチェック
1学期	2. 幕府の衰退と庶民の台頭	２．幕府の衰退と庶民の台頭 ①：庶民の活動が社会秩序の変革力として成長した一方、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ②：諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	○	○	○	○ ○	○惣村の形成や土一揆の発生など庶民による自治的な組織の成立に着目して、応仁の乱に代表される幕府の動揺や衰退を考察できたか。 ○流通経済の進展による農業・商工業の発達を踏まえて庶民が台頭する姿をとらえられたか。	プリントチェック
1学期	3. 室町文化	３．室町文化 ①：東アジアとの交流に着目して、武家・公家文化及び大陸文化とのかかわりについて理解する。 ②：庶民文化の萌芽や、応仁の乱による文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の発展を理解する。	○	○	○ ○	○ ○	○南北朝・北山・東山文化を通じて、武家・公家文化の融合、禅文化の果たした役割などを踏まえ、能・狂言・茶の湯・生花などを例にとり理解できたか。 ○今日につながる庶民文芸の流行、公家の地方下向による中央と地方の文化的交流の活発化を踏まえて、現代につながる地域文化の特色について考察できたか。	プリントチェック
2学期	4. 戦国大名の登場	４．戦国大名の登場 ①：地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について考察する。	○	○	○	○	○室町時代の後半から急速に台頭し領国統治を強化した戦国大名、商人に支えられた堺や博多など都市の発展など、戦国期の日本の多様性を考察できたか。	[期末考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述

2学期	1. 織豊政権	**第Ⅲ部　近世** **第６章　幕藩体制の確立** １．織豊政権 ①：世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②:織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略など織豊政権のその後の時代への影響について考察する。	○	○	○	○ ○	○鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。 ○楽市、検地、刀狩にみられる諸政策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。またそれらについての文献史料の把握ができたか。	プリントチェック
2学期	2. 桃山文化	２．桃山文化 ①：大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し考察する。	○	○	○	○	○桃山文化が国際性を持ちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化にも着目して考察できたか。	プリントチェック
2学期	3. 幕藩体制の成立	３．幕藩体制の成立 ①：江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ②：鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係も含めてその影響と歴史的意義を考察する。	○	○	○	○ ○	○幕藩体制の特質について、幕府と藩・朝廷・寺社との関係を踏まえて、幕府が出した諸法令とともに考察できたか。 ○初期外交から鎖国までの過程について、禁教徹底に伴う対欧貿易統制の側面だけでなく、鎖国下でも琉球・朝鮮・蝦夷地との活発な交易活動が行われたことが理解できたか。	プリントチェック
2学期	4. 幕藩社会の構造	４．幕藩社会の構造 ①：幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から考察する。		○		○	○幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成、経済的基盤などを踏まえて考察できたか。	プリントチェック 章末小テスト
2学期	1. 幕政の安定	**第７章　幕藩体制の展開** １．幕政の安定 ①：17 世紀後半から 18 世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	○	○	○	○	○文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。その間に発せいられた諸法令についての理解ができたか。	プリントチェック

2学期	2. 経済の発展	２．経済の発展 ①：幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、その社会的役割を考察する。		○	○	○	○農業技術の進歩に伴う農業生産の進展、産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都の発達に見える都市の経済的繁栄に着目して、諸産業の展開と具体的な商品産地を地図上で考察できたか。	プリントチェック
2学期	3. 元禄文化	３．元禄文化 ①：経済の発展ともに町人文化が形成された事について、町人の台頭や幕藩体制の安定と関連づけ理解する。	○	○	○	○	○町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など経済の発展や、幕府の教学として発展する儒学などに着目し元禄文化の文学・学問・美術について考察できたか。	プリントチェック 章末小テスト
2学期	1. 幕政の改革	**第８章　幕藩体制の動揺** １．幕政の改革 ①：農村の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義を考察する。		○	○	○	○幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について考察できたか。	プリントチェック
2学期	2. 宝暦・天明期の文化	２．宝暦・天明期の文化 ①：江戸中期に確立した洋学や国学などの学問、及び文学・芸能・美術について、社会の変容に関連づけ考察する。	○	○	○	○	○社会の変容に着目して、この時期の学問の確立、各地に設立された教育機関の展開をとらえられたか。	プリントチェック
2学期	3. 幕府の衰退と近代への道	３．幕府の衰退と近代への道 ①：欧米諸国のアジア進出とそれに対する幕府の対処を踏まえ、幕府の衰退過程を考察する。 ②：近代化の基盤形成について、雄藩による産業経済面や軍事面などの改革という視点から考察する。	○	○	○	○ ○	○列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政を踏まえて、幕府の衰退をみることができたか。 ○マニュファクチュアなど近代の萌芽がみられ、諸藩の財政再建から軍事産業確立に至る雄藩の出現過程を考察できたか。	プリントチェック

2学期	4. 化政文化	４．化政文化 ①：化政文化における学問・思想・教育・文学・美術・生活文化のなど江戸後期の文化の展開について考察する。	○	○	○	○	○幕藩体制に批判的な学問・思想の起こり、寺子屋など庶民教育機関の普及、浮世絵に象徴される出版文化の発達などに着目して、江戸後期の文化の特徴を理解できたか。	中間考査 プリントチェック これまでの学習の意見論述
2学期	1. 開国と幕末の動乱	**第Ⅳ部　近代・現代** **第９章　近代国家の成立** １．開国と幕末の動乱 ①：世界史的視点を通して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②：天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡と戊辰戦争までの経過を理解する。		○ ○	○	○ ○	○日米和親条約・修好通商条約締結、開港による経済・社会の情勢変化と政局への影響を文献史料を通して考察できたか。 ○公武合体派、尊王攘夷派の動きに着目して、倒幕から明治政府の樹立にいたる権力構造の変化を理解できたか。	プリントチェック
2学期	2. 明治維新と富国強兵	２．明治維新と富国強兵 ①：明治新政府による富国強兵・殖産興業政策など明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ②：近代文明の展開、明治初期の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆などについて理解する。 ③：明治初期の対外について、欧米への対応と、アジアにへの対応との違いについて考察する。	○ ○	○	 ○ ○	○ ○ ○	○廃藩置県・徴兵制・四民平等・秩禄処分・地租改正・殖産興業など明治政府の諸政策の構築過程を考察できたか。 ○近代化政策や欧米文化の導入について、国民の間に受容と反発があったことを理解できたか。 ○国境画定を含む明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多面的・多角的にとらえることができたか。	プリントチェック

2学期	3．立憲国家の成立と日清戦争	３．立憲国家の成立と日清戦争 ①：政府の強力な中央集権体制の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至るまでの過程を考察する。 ②：国家的課題であった不平等条約の改正交渉の過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。	○	○	○ ○	○ ○	○国会開設要求の運動など国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について考察できたか。また、憲法の特色、議会と内閣の在り方などを通して、戦前の立憲制のしくみを理解できたか。 ○条約改正が、法典整備など国内体制の問題だけでなく、世界史的視点から英露対立があったことを地政学的に考察できたか。また、朝鮮支配をめぐる対立が日清戦争の背景となった点を理解できたか。	プリントチェック
2学期	4．日露戦争と国際関係	４．日露戦争と国際関係 ①：開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を理解する。 ②：立憲体制成立後から桂園時代にいたるまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。	○	○	○	○ ○	○英露対立を背景とした日露戦争が軍事力・経済力・工業力など国家の総力を結集して戦われた点を考察できたか。また、その後の韓国併合や満州進出の動きにつながる一連の対外政策の過程を理解できたか。 ○立憲政友会の成立から桂園時代に至る過程について、軍備の拡張の視点を踏まえて考察できたか。	プリントチェック
2学期	5．近代産業の発展	５．近代産業の発展 ①：日清・日露戦争前後に資本主義の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展を通して考察する。 ②：近代産業の発展に伴う社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。	○ ○	○	○	○ ○	○繊維部門での産業革命以降、製鉄・造船などの重化学工業の形成、鉄道・海運の伸張、財閥の形成、寄生地主制の成立などを相互に関連づけて考察できたか。 ○劣悪な労働条件に対する労働争議の頻発と社会主義運動の高まり、足尾鉱毒事件などに関心を持ち、社会運動への政府の対応に着目できたか。	プリントチェック

2学期	6. 近代文化の発達	6．近代文化の発達 ①：伝統的文化の上に欧米文化を摂取するなど近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点も含め考察する。	○	○	○	○	○国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究の風潮、欧米の科学技術の導入、就学率の向上など教育の普及に着目して、国民が文化の創造に取り組んできた姿勢を考察できたか。	プリントチェック 章末小テスト
2学期	1. 第一次世界大戦と日本	**第10章　二つの世界大戦とアジア** 1．第一次世界大戦と日本 ①：第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移、政党政治の発展や日本の中国進出の状況などを考察する。 ②：第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。	○	○	○ ○	○ ○	○第一次護憲運動による大正政変以降、政党が政治の中心的役割を果たしていく過程を理解し、第１次世界大戦後中の欧米、アジアとの関係に関して、対華二十一カ条要求・シベリア出兵が国内外に及ぼした影響について考察できたか。 ○大戦景気に着目して、資本主義の発展による産業構造や社会構造の変化について考察できたか。また、米騒動や原敬内閣の成立に着目してデモクラシー思想の浸透による政党の役割と動向について考察できたか。	プリントチェック
2学期	2. ワシントン体制	2．ワシントン体制 ①：ワシントン体制における協調外交の進展について、国際環境の推移から日本の立場を考察する。 ②：社会運動の動向を理解すると共に、普選運動など政党政治の発展と政党内閣制成立の意義について考察する。	○ ○	○	 ○	○ ○	○ヴェルサイユ体制、ワシントン体制の中で対欧米協調外交を進める一方、日本の大陸進出に対する中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目できたか。 ○労働争議・小作争議・女性解放運動・部落解放運動・社会主義運動など様々な社会運動が起こってきた背景に着目できたか。普選運動・護憲三派内閣の成立・治安維持法の成立などに着目して政党政治を考察できたか。	[期末考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述

3学期	3．市民と大衆文化	３．市民生活の変容と大衆文化 ①労働者や都市市民による大衆社会の基盤の成立に着目し、市民文化の特色について考察する。	○	○	○	○	○学問・芸術・出版・マスメディアなどを具体的に取り上げ、欧米文化の関わりとその浸透の中で、大衆文化の進展による社会風潮に着目して考察できたか。	プリントチェック
3学期	4．恐慌の時代	４．恐慌の時代 ①：戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②：社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。	○	○	○	○ ○	○戦後恐慌・金融恐慌・昭和恐慌を取り上げ、背景となる関東大震災・金解禁・世界恐慌との関連を含めて理解できたか。 ○無産政党の誕生など社会主義運動が高まる中、山東出兵や統帥権干犯問題など軍部の政治的進出を背景に協調外交から強硬外交へと転換していく過程を考察できたか。	プリントチェック
3学期	5．軍部の台頭	５．軍部の台頭 ①：世界情勢や軍部の政治的進出に着目し、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ②：国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	○ ○	○	○	○ ○	○満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策について、五・一五事件などの国内の状況も踏まえて考察できたか。 ○金輸出再禁止から管理通貨制度への移行、新興財閥の台頭や学問への弾圧などを踏まえ、軍部の政治関与が増大した過程を考察できたか。	プリントチェック
3学期	6．第二次世界大戦	６．第二次世界大戦 ①：日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ②：第二次世界大戦について、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	○ ○	○	○	○ ○	○中国情勢の変化から日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争に至る過程、戦時下の経済と国民生活・文化など、様々な角度から考察することができたか。 ○連合国と枢軸国の性格の違いや国民生活の犠牲のうえに成り立っていた総力戦体制などを踏まえ、日本がアジアの諸国に多大な損害を与えたことや広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことに着目できたか。	プリントチェック 章末小テスト

3学期	1. 占領と改革	**第11章　占領下の日本** １．占領と改革 ①：戦後の占領政策及び民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ②：戦後政治の動きについて、新たな日本の出発点となる日本国憲法制定の意義を理解する。	○ ○	○	○	○ ○	○ＧＨＱによる対日占領政策、民主化政策が、日本国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付けたか。 ○国民主権・平和主義・基本的人権の尊重の３原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意義、戦後直後の国民生活の状況を理解できたか。	プリントチェック
3学期	2. 冷戦の開始と講和	２．冷戦の開始と講和 ①：東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、戦後の日本が主権を回復した意義を考える。 ②：第２時世界大戦後の冷戦の始まりとその後の日米関係のについて、様々な国の立場から考察する。	○ ○	○	○	○ ○	○中華人民共和国の成立、朝鮮戦争の勃発に伴う占領政策の転換として、経済面では経済安定九原則、政治面では警察予備隊の新設に着目して考察できたか。 ○サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義と、安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を考察できたか。	プリントチェック 章末小テスト
3学期	1. 55年体制	**第12章　高度成長の時代** １．55年体制 ①：戦後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める 55 年体制の成立から長期保守政権となるまでの経過を考察する。 ②：日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係など国際社会への復帰の動きを考察する。	○ ○	○	○	○ ○	○保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とした長期保守政権の誕生に至るまでを、外交・政治・経済を踏まえて多面的・多角的に考察できたか。 ○日ソ共同宣言などサンフランシスコ非調印国との国交交渉と、国際連合加盟の意義を理解できたか。また、その後の新安保条約・日韓基本条約・沖縄返還問題などを取り上げ、外交・政治の再編過程を把握できたか。	プリントチェック

3学期	2．経済復興から高度成長へ	２．経済復興から高度成長へ ①：朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ②：社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。	○ ○	○	○	○ ○	○特需景気の影響、産業構造の急速な変、1960年代を中心とした高度経済成長期における日本の動きを考察できたか。 ○耐久消費財の普及による豊かさの享受、流通網・交通網の整備、技術革新が進む一方、農村の過疎化や四大公害問題などの社会問題にも注目したか。	プリントチェック 章末小テスト
3学期	1．経済大国への道	**第13章　激動する世界と日本** １．経済大国への道 ①：ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ②：高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を考察する。	○	○	○	○ ○	○ベトナム戦争を遠因とするドル＝ショックや第四次中東戦争に発する石油危機による世界経済の混乱に対応するため開かれた主要先進国首脳会議が、その後の世界的な問題解決の場となったことに気付いたか。 ○石油危機を技術革新で乗り越え、経済大国となった日本が国際貢献や貿易摩擦・円高への対応が求められたことが考察できたか。	プリントチェック
3学期	2．冷戦終結と日本社会の動揺	２．冷戦終結と日本社会の動揺 ①：冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる ②：科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの諸課題とそれに対する日本の役割を認識する。	○ ○	○	○	○ ○	○冷戦終結後の東欧革命、５５年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取りあげ考察できたか。 ○原子力に対する安全性、国連平和維持活動への対応、経済不況に対する国内改革など、具体的な例をもとに理解することができたか。	[期末考査] プリントチェック これまでの学習の意見論述

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。